

科目名	芸術 I (書道) Art I (Calligraphy)			担当教員	寺坂文和		
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	1
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	11220013	単位区別	履修
学習目標	<p>国語科書写では、文字を正しく整えて書くことを目標としたが、芸術科書道では、書写の能力をさらに高め、書の美を追求していくことを目指す。</p> <p>書の表現と鑑賞の基礎能力を育てるとともに、古典の臨書と創作を通して、芸術としての書の美を学ばせ、書を愛好する心情を養う。</p>						
進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の学習では、実技を通して臨書と創作をする。 ・表現力を高め豊かにするには、すぐれた書を鑑賞し感性を養うことを心がけるようにする。 						
学習内容	1. 書の美を求めて (1)	書の美とは何かを考えさせる A3:1					
	2. 楷書の学習の基本 (2)	書の基本形を把握する B2:1					
	3. 厳正な楷書と温雅な楷書 九成宮醜泉銘と孔子廟堂碑の鑑賞と臨書 (2)	古典の臨書を通して、用筆、運筆、点画の形や線質、字形など表現技法を学習する。 B1:1					
	4. 重厚な楷書と軽快な楷書 建中告身帖と雁塔聖教序の鑑賞と臨書 (2)						

	5. 行書の特徴 (1)	創作の手順を理解し作品づくりをする。 B2:1					
	6. 蘭亭序の鑑賞 (1)						
	7. 蘭亭序の臨書 (半紙) (2)						
	8. 蘭亭序の臨書 (画仙紙半切) (4)						

	9. 行書による創作 (2)	「いろは歌」により基本的なものを身につける。 B1:1					
	10. 平仮名の単体 (2)						
	11. 変体仮名 (3)						

	12. 連綿 (2)	連綿の方法や仮名の流動美を理解する。 A1:3					
13. 漢字仮名交じりの書の学習 (2)	漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できるよう工夫する。各自が意図した表現に近づける B2:1						
14. 古名跡を応用しての表現 (2)							
15. 用筆・運筆および用具・用材の工夫 (2)							

評価方法	毎時間、清書作品を提出させ、学習到達度評価を行うとともに、授業態度等も加味した総合評価を行う。						
履修要件	特になし						
関連科目							
教材	教科書：今井凌雪著「新編 書道 I」 教育出版						
備考	特になし						